# ■ ABSTRACT OF JAPANESE PUBLICATION OF UNEXAMINED UTILITY MODEL APPLICATION No. 54-151504

A button comprising: a metallic male portion (5) including a seat plate (1) in which a leg (3) having a thin tip end and a step (2) with a big diameter projects at the center thereof; and a female portion (14) including a base plate (6) in which a cylinder portion (10) having a through-hole (7) with a slightly smaller diameter than the leg (3) projects at the center thereof, the base plate (6) being coated with a metallic decorative plate (13).

## 公開実用 昭和54-151504



(3,000円)、

### 実用新案登録願

昭和よる年

特許庁長官殿

1. 考案の名称

2. 考 案 者

3. 実用新栥登録出願人



**〒**540 4. 代 理 人

大阪市東区和泉町1丁目17番地 (3198) 弁理士 石 田 電話大阪 (66) 941 -- ?295 器 (外一名)

5. 添附書類の自録

(1) 明細書 1通(2) 図 面 1 通

(3) 委 任 状 1 通 (4) 願書副本

 $\sqrt{53049293}$ 

#### 明 細 書

/ 考案の名称 釦

#### 2 実用新案登録請求の範囲

照板1の中央に先端が先尖で、太径の段部2を 形成した脚3を突設した金縄製雄部5と、基板6 の中央に、前記の脚3より少許小径の貫通孔7を 有する胴部10を突設して全体を強靭性の合成樹脂 で形成し、基板6に急縄製の筋板13を被着した雌 部14とからなる釦。

#### 10 3考案の詳細な説明

本考案は、雄部の脚装着による雌部の破損を防止できる釦に係るものである。

84-121204

### 公開実用 ||沿和154- 151504

13を被着した雌部14とからなるものである。

尚、第5回、第6回は貫通孔7の形状を変形したものであり、又金属製の雄部5の脚3は中空又は中実に形成することも自由である。

5 本考案の餌を生地に装着する場合は、第4回に 示す如く、唯部14の嗣部10の頂面11上に生地15を 位置せしめ、雄部5の脚3を、雌部14の嗣部10の 貫通孔7に沿せて機いて、上方より強圧する。

金興製の雄部 5 の 間 3 は先端が先尖であるため、 10 生地 15 を突き破り、 間 3 の段部 2 は合成樹脂製の 雌部 14 の胸部 10 の質通孔 7 の内壁7Aを押し拡げ乍 5 進入し、 興 3 の段部 2 が内壁7Aを通過後、段部 2 が段岡部 8 に係合して脚 3 は胴部 10 に確実強協 に係止され、且つ嘘部 14 の頂面 11 の複数値の小突 15 起 12 が生地 15 に陰い入り、 嘘部 14 の回動を防止し て生地 15 との係合を緊持する。

本考案は上記の如き構成で、雄部5は使い金属要であり、雌部14はナイロンの如き強軟性を有する合成樹脂で形成されている為め、係合に際しては、雄郡5を押圧すれば胴部10の黄遊孔7の内壁

20

5

10

15

20

7Aを押し拡げ乍ら進入し、狭い径の貫通孔 7 を通 減後、段部 2 が段周部 8 に係合して脚 3 は胴部 10 に確実強闘に係止されるものである。

従来は第7図の如く、合成樹脂製の雌部J4Aの挿入孔7Rに、金属製雌部5Aで太径の段部2を有する脚3を打込む釦にあつては、挿入孔7Bが底酷りであるため、雌釦5Aの装着の際の打圧により、近れ7Bの圧舶空気は逃げ場がない為め、往々にして変形したり、又胴部ル或いは萎板6に急裂Kを生ずる欠点を有していた。然かも斯る破損釦が接着せられる時は、その嫌法がに再度新部品を装着せねばならないことは、釦装着作業に支障を来たし且つ多大の無駄な手数を要することとなる欠点を有している。

然るに本考案の倒は、睚部 5 の脚 3 を挿入して 取付ける雌部 14 の胸部 10 に設けた貰道孔 7 は基板 6 の部分を貰適して閉口して居る故に、雌部 5 の 取付け時に際し,貫適孔 7 内の空気は、基板 6 に被 着された金属製の飾板 13 の凹凸模様又は文字等の 5

10

20

### 公開実用 昭和54- 151504

部分と基板6との間の空所或いは貫通孔7の残存 部分に相当の空所を有する為め、之等の空所に貧 通孔7内の空気全部が圧縮されても圧縮比が少な くなる為め、胴部10に膨張変形、或いは胴部10及 び募板6に角裂を生じない。又募板6と飾板3の 接当部分は必ずしも完全密着していない為め、貫 商孔7内の圧縮空気は外部に漏出し、胸部4や基 板6に膨脹或いは亀裂等の発生は防止し得られる。 而して基板6の質道孔7は、飾板13の装着によ り破機されて外部に欝出しないので、貫通孔1の 存在による不体裁は防止し得られる。

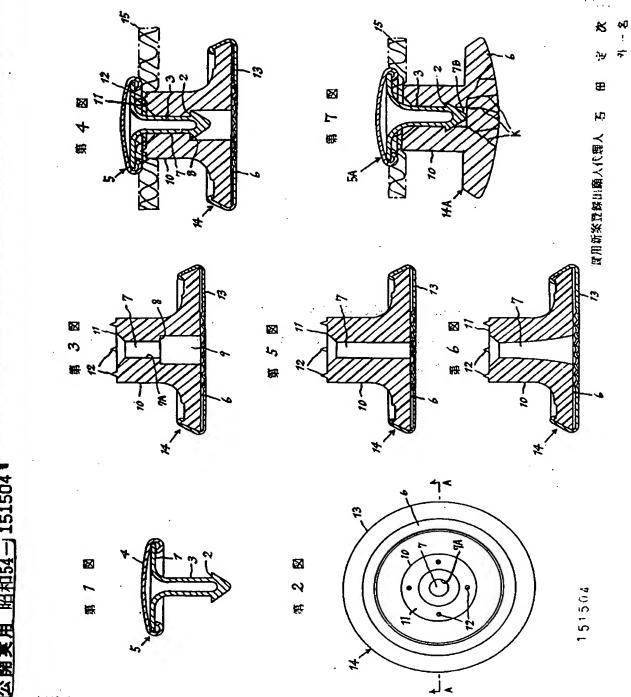
更に本考案に於いては、金属製の雄部 5 を使用 し、雌部はの胴部は、基板もを合成樹脂の一体的 の形成として、雄郡5の脚3の先端部分を雌部の 合成樹脂の部分で係消し、基板6に破着する金属 15 製の 鮪 板 13 の内面に 接当 変形 して 黶 定するもので はないので、休里に筋板13の材質を整く厚いもの を使用する要なく、薄きものにて事足り、この点 に於て筋板の材料を餡剝出来、且つ筋板上の凹凸 文字、図形も容易且つ鮮明に表現した鮨板を使用

出来る利点を有している。

#### 幺図面の簡単な税明

図面は本考案の実施例を示すもので、第/図は 維部の縦断面図、第2図は雌部の平面図、第3図 5 は第2図のA-A線断面図、第4図は雌雌部の係 合状態を示す縦断面図、第5図第6図は他の実施 例を示す雌都縦断面図、第7図は従来例の係合状 態を示す維新説明図である。

> 実用新案登録出顧人 カネエム工業株式会社 代 理 人 石 田 定 次 外 / 名



### 公開実用 昭和54-151504

4-14160C

# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

### **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

BLACK BORDERS
☑ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
☐ FADED TEXT OR DRAWING
☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
GRAY SCALE DOCUMENTS
☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
☐ OTHER:

#### IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.